賛助会員一覧 （順不同）

関東国際高等学校 東京都渋谷区本町3-2-2	**村山 サンドラー 先生** TEL：03-3376-2244	**京華学園** 東京都文京区白山5-6-6	**今野 巌 先生** TEL：03-3941-6493
東洋高等学校 東京都千代田区神田三崎町1-4-16	**石井 和彦 先生** TEL：03-3291-3824	**武蔵野大学千代田高等学院** 東京都千代田区四番町11	**岡田 孝子 先生** TEL：03-3263-6551
光英VERITAS中学高等学校 千葉県松戸市秋山600	**川並 芳純 先生** TEL：047-392-8111	**目黒日大中学高等学校** 東京都目黒区目黒1-6-15	**天野 正貴 先生** TEL：03-3492-3388
麹町学園女子中高等学校 東京都千代田区麹町3-8	**田邊 隆 先生** TEL：03-3263-3011	**共栄学園中学高等学校** 東京都葛飾区お花茶屋2-6-1	**越間 秀男 先生** TEL：03-3601-7136
春日部共栄中学高等学校 埼玉県春日部市上大増新田213	**馬﨑 郁朗 先生** TEL：048-737-7611	**中村中学・高等学校** 東京都江東区清澄2-3-15	**富田 義道 先生** TEL：03-3642-8041
東京立正中学高等学校 東京都杉並区堀ノ内2-41-15	**小泉 岳司 先生** TEL：03-3312-1111	**文教大学付属中学高等学校** 東京都品川区旗の台3-2-17	**神戸 航 先生** TEL：03-3783-5511
八雲学園中学高等学校 東京都目黒区八雲2-14-1	**横山 孝治 先生** TEL：03-3717-1196	**金沢工業大学国際高等専門学校** 石川県金沢市久安2-270	**志鷹 英男 先生** TEL：076-248-1080
東洋大学京北中学高等学校 東京都文京区白山2-36-5	**井出 秀己 先生** TEL：03-3816-6211	**(株)私塾界** 東京都豊島区東池袋1-39-1三善ビル3F	**山田 未知之 様** TEL：03-3987-0838
大森学園高等学校 東京都大田区大森西3-2-12	**三浦 圭 先生** TEL：03-3762-7336	**デザインオフィススズキ** 千葉県柏市柏687-6	**鈴木 学 様** TEL：04-7164-8276
東京成徳大学中学高等学校 東京都北区王子6-7-14	**大矢 忠和 先生** TEL：03-3911-5196	**(株)POPER** 東京都中央区日本橋茅場町1-13-21-4F	**栗原 慎吾 様** TEL：03-6265-0951
日本工業大学駒場中学高等学校 東京都目黒区駒場1-35-32	**河村 文夫 先生** TEL：03-3467-2130	**(株)塾と教育社** 東京都千代田区飯田橋4-4-8-310	**加藤 麻由美 様** TEL：03-6265-6855
青稜中学高等学校 東京都品川区二葉1-6-6	**伊東 充 先生** TEL：03-3782-1502	**(株)ブックモールジャパン** 埼玉県戸田市上戸田4-2-33 日教販戸田センター	**撹上 聡 様** TEL：048-447-7457
芝国際中学高等学校 東京都港区芝4-1-30	**鶴内 小百合 先生** TEL：03-3451-0912	**教育開発出版(株)** 東京都杉並区下高井戸1-39-12	**糸井 幸男 様** TEL：03-3304-5291
駒込中学高等学校 東京都文京区千駄木5-6-25	**河合 孝允 先生** TEL：03-3828-4141	**(株)クロノクリエイト** 東京都渋谷区神宮前5-52-2-2F	**添田 大亮 様** TEL：03-5468-6986
愛国中学高等学校 東京都江戸川区西小岩5-7-1	**高橋 英夫 先生** TEL：03-3658-4111	**(株)声の教育社** 東京都新宿区新小川町8-15	**中村 千尋 様** TEL：03-5261-5061
安田学園中・高等学校 東京都墨田区横網2-2-25	**藤村 高史 先生** TEL：03-3624-2666	**アロー教育総合研究所** 東京都千代田区神田小川町3-8-5F	**古川 貴央 様** TEL：03-3259-2851
品川学藝高等学校 東京都品川区豊町2-16-12	**伊庭 崇 先生** TEL：03-3786-1711	**(株)インフィニティライフ** 東京都新宿区四谷4-3 エクシーナ四谷1001	**高木 直人 様** TEL：03-6380-5894
立正大学付属立正中学高等学校 東京都大田区西馬込1-5-1	**今田 正利 先生** TEL：03-6303-7683	**モノグサ(株)** 東京都千代田区飯田橋3-8-5 住友不動産飯田橋駅前ビル7階	**中村 大志 様** TEL：090-1657-8610
上野学園中学校・高等学校 東京都台東区東上野4-24-12	**川村 翼 先生** TEL：03-3847-2201	**デジタルハリウッド(株)** 東京都千代田神田駿河台4-6 御茶ノ水ソラシティアカデミア4F	**西 彩音 様** TEL：03-5289-9267
二松学舎大学付属高等学校 東京都千代田区九段南2-1-32	**車田 忠継 先生** TEL：03-3261-9288	**ライフイズテック(株)** 東東京都港区南麻布2-12-3 南麻布ビル1F	**齋藤 比呂樹 様** TEL：03-5877-4879
自由学園 中等科・高等科 東京都東久留米市学園町1-8-15	**更科 幸一 先生** TEL：042-422-3111		

私塾ネットセンター広報 ｜ 発行：田中宏道、編集長：中村直人、制作：谷村志厚、鈴木 学

全日本私塾教育ネットワーク

私塾ネット広報

第81号

（2023年5月号）

小手毬（バラ科・原産地中国）

全日本私塾教育ネットワーク

理事長：田中 宏道（LAPIS鎌ヶ谷） TEL：047-443-1010
センター事務局：長江 広紀（英数学院） TEL：044-788-7556
〒211-0044 神奈川県川崎市中原区 新城5-9-25　英数学院内
https://shijuku.net

理事長コラム

田中 宏道（LAPIS鎌ヶ谷・千葉県）

「さらに内部活性を計る令和５年度」

中が盛り上がれば外も喜ぶ、天照大神を誘い出すように。
人の温もり感じる組織作り・教育業界でのハブの役割を追求する。

「学びを通じて人と人とを繋げる私塾ネット」です。全国をまたぐ最大級の学習塾民間団体である「私塾ネット」は設立23年目を迎えました。学習塾の活動を30余年にわたって支えてきた「全国私塾連盟」「全日本私塾協会」「日本私塾会」の3団体が2001年に大同団結して発足してから23年目に入りました。大同団結前から数えると55年以上に渡り学習塾の活動を支えてきたこととなります。

しかし会員数は減少し続けています。賛助会員も同様です。そして会員の高齢化も進んでいます。そこで考えられるのは会員数を増やすことでしょう。しかしそれを最優先にはいたしません。まずは在籍する会員が会員であることを喜べる活動を最優先します。人と人とを繋げるために、たとえ極少人数でも小さなイベントを重ねてまいります。参加したいと思う企画や参加しやすい企画を作ります。

「人の温もりを感じる」コミュニケーションを心がけ、会員のみなさまが今まで以上に私塾ネットにいて良かったと言ってもらえる団体になりたいです。何らかの理由で活動になかなか参加できない方に「人の温もりを感じる」声かけ・訪問などを優先したいです。

今までも明るく楽しい私塾ネットでしたが、さらに明るく楽しく活動すれば、その良さがじわじわと滲み出し、惹かれる気になる存在になるはずです。そうすれば自ずと会員数も増えると信じます。

私田中をはじめとするセンター役員は今までの広い人脈を活かし、会員・非会員・業種にもとらわれずに、他団体や他塾・他社との交流を積極的に行い縁を深めるとともに、参加しやすい企画(主に研修)を数多く立てて人の縁を繋げる活動に邁進してまいります。

業界（仲間）が素敵な方向に進むように、そして、いろいろなことを教えてくださった先輩たちへの恩返しのために少しばかりですが動いてまいります。

今年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

以下、4月の全国研修会、年4回の広報に加え、センター主催の企画です。

2023 センター主催イベント

1)大分県「立命館アジア太平洋大学」訪問

立命館アジア太平洋大学

５月15日(月)開催。

2)「塾人のための歴史勉強会」

６月から毎月第一木曜日午前中に２０回開催します。
海外に行ったときに、自国日本を語るのに非常に役立つ講座です。日本人の教養としての歴史が学べます。塾人・先生にこだわらず、全ての方にお薦めの講座です。騙されたと思って１回だけでも受講してみてください。

3)経営・社員教育を学ぶ研修会(秋予定)

「日本で一番大切にしたい会社」に掲載されている「かんてんぱぱ・伊那食品」にて、経営・社員教育を学ぶ研修会を秋に開催したいと考えています。

4)さいたま市・大宮国際中等学校訪問

中２で英検準２級は当たり前のようにとってしまう公立中学校です。ぜひ多くの方に見ていただきたい学校です。

5)その他(レクリエーション)

谷根千（谷中・根津・千駄木）遠足。プチランチ会。
歌舞伎・能・狂言鑑賞 ＆ 語る会など少人数でよいので、楽しめるものやってみたいです。
お楽しみに！

田中宏道 Facebook / ラピス鎌ヶ谷 Instagram

エリア通信

エリア東北代表　佐々木 康（やまばと学習館・青森県）

4月5日（水）オンラインにて、エリア東北の総会が行われました。昨年から、一橋ゼミナール八木山校の丹治美香先生が仲間に加わり、令和5年度の新たなスタートを切ることが出来ました。コロナ明けとなるのか、新しい事業も様々始まってゆく中、エリア東北としては各会員が参加できるタイミングで、研修会などで勉強をしていきたいと思っております。

さて、例年よりも早い桜の開花により、日本有数の桜の名所、弘前公園でも4月14日に開花し、24日には満開となりました。弘前公園の桜は一つの房に4～5個、多いところでは7個の花芽がつくことから、ボリュームがあるのが特徴です。　また、ソメイヨシノの寿命は一般的に60年程度といわれるなかで、弘前公園では樹齢100年以上のソメイヨシノの古木が300本以上、樹齢60年を超えるものは約1200本あり、今年も美しい花を咲かせています。新学期の準備でなかなか桜を見に行くことが出来ないのですが、もう1つの見どころ、花筏（はないかだ）の見ごろは4月27日から29日とのこと。弘前城跡には堀が囲うようにあり、散った桜の花びらがたまりやすく、「桜のじゅうたん」「桜の畳」などと例えられ、「散っても美しい」と国内外から花筏を目当てに訪れる観光客も多いのです。

今年は青森の祭りも、これまで通り行われます。夏の青森を盛り上げる青森三大祭りには、躍動感あふれる「青森ねぶた祭」、優美な扇ねぶたの「弘前ねぶたまつり」、力強く迫力満点の「五所川原立佞武多」があります。古式ゆかしい神社行列と、豪華絢爛な山車の競演が見ものの「八戸三社大祭」も7月末から行われます。私の塾でも、夏の講習会時に笛や鐘の囃子の練習を生徒と一緒にして、町内のねぶたを引っ張ったりもしました。生徒の汗と笑顔あふれる、楽しい体験でした。コロナでしばらくお休みになってしまいましたが、今年はまた復活を、と思っていた矢先、お世話になっていた町内会の子供会が解散との知らせが届きました。少子化の波の影響で、地域の子供会はこの数年でほとんどが解散してしまったようです。子供たちに様々な経験と、郷土の文化を伝え、繋げる組織が、いとも簡単になくなってしまう現状は大変悲しいものです。当館独自主催の企画を何か考えてみようかと思案して企んでいるところです。

エリア関東　仲野 十和田（ナカジュク・東京都）

通信制サポート校&フリースクールの開校当初に転入してきた生徒（高３女子）の髪の毛は7色、数か月後には妊娠をして、つばさ（以下、通信制サポート校&フリースクールを「つばさ」と称します）ならではのスタートでした。金八先生張りに「命の授業」なども行い、無事卒業することができました。卒業式で挨拶をしてもらったところ、泣きながら感謝の気持ちを、心を込めて伝えてくれたのが今でも思い出されます。今年は10回目の卒業式。一昔前までは、フリースクールのような存在は認知されませんでしたが、新しい法律もできて学校とも連携が取れ、生徒の居場所として認知されつつあります。つばさの子どもたちは、普通の学校では受け入れられなかった経験を持つ子が多いので、その分人に対して寛容です。また、心が繊細だからこそ、学校での変わった行動を指摘されているうちに籠ってしまうことがあるので、「この場所は安心、安全だ！」と感じたとき、その才能が開花し驚かされることはしばしばです。

話は変わりますが、不登校生にとってスマホは必需品なので、無理に取り上げたりしたら来なくなります。実は昨年度までは授業中などでもスマホの所持を認めていましたが、全校集会でスマホのことを全員で話し合ったところ、授業中はスマホを預けるというルールができました。生徒たちはしっかり守ってくれるし、さらに授業への参加率も高くなり、遅刻も減るようになってきました。子どもたちは、スマホ依存のことも受け止めているし、勉強をした方が良いこともわかっています。もし大人たちが先入観だけでそれを抑えつけたりしたら、そこにいる子どもたちの可能性を見いだせなくなってしまうでしょう。子どもたちはしっかりと答えを持っているのです。

つばさの面白いところは、塾と異なり成績アップにコミットしなくて良いところだと思っています。いま、目の前の子が集中して絵を描きたいならそうさせてあげて、時間のあるときに一緒に美術館に行ってあげたりと、平日の昼間を自由に使うことができるので、様々な対応ができます。そして、美大に目標が定まったなら、勝手に勉強を始めます。コロナの影響もあり、今まで通学できていた子たちが迷子になった場合にも、つばさのような居場所も必要になってきたような気がします。

※今回の私の写真は、カメラ好きの生徒が撮ってくれたもので、お気に入りです。

エリア中国代表　西本雅明
（パワーゼミ西本・広島県）

「新型コロナを気にしなくて良い」という状況になったとたんに、物価高やチャットGPTの波が押し寄せてきました。物価高については昨年夏ごろから「パワーゼミは来春、絶対月謝を上げる。」と周りに言い続け、「値上げ仲間」を増やして、今春10%程度の値上げをしました。「値上げ仲間」は意外にもいませんでしたが、募集に影響はありませんでしたのでホッとしています。調子に乗って来年度もこっそり値上げしたいと思います。

4月23日の「全国塾長職員研修大会」に参加しました。そこで冒頭行われたAJC森理事長のご挨拶文はチャットGPTに台本を書かせたと、最後にネタを明かしてくれました。最初は知りませんでしたから、あれっなんだか体調が悪いのかなと思いましたが、わざと棒読みに近い形でお読みになったようです。しかし挨拶文は立派な内容でした。早速エリア中国では5月の定例会でチャットGPTの研修会をすることにしました。講師は広島工業大学の情報工学科の教授と助教です。「チャットGPTについて」「AIとデータサイエンスに関する教育について」です。チャットGPTは急速に進化し、瞬く間にいろいろな場面で使われることになりそうです。たまたま来た中国新聞社の記者に「チャットGPTを使っとるじゃろ」と、聞いてみたら、「使ってます」ときっぱり白状しました。今はまだ参考にする程度でしょうが、将来は学歴の高い記者は要らないし、塾でも個別指導のアルバイトが不要になるかもしれません（僕のような塾長は一番に不要になるに違いない）。

福山では4月の第1日曜日は恒例の「志望校判定模試（新中3）」を近隣の私学をお借りして行います。今年は仕事をするのが馬鹿らしくなるほどの、うららかな春光の中実施しました。

受験生としての自覚を持たせることが目的ですが、今年は残念ながら全員が「お花見」気分でした。

エリア四国代表　小野 昭
（小野塾・香川県）

私塾ネット会員の皆様にはいつも大変お世話になっております。

本紙広報第81号が皆様のお手元に届くころには、コロナも第5類に分類されているのでしょう。四国の活動も本年度は、5月21日オークラホテル丸亀での総会、さらには10月29日秋の研修会を予定しています。秋の研修会では、愛媛県の神野進学教室・神野先生ご夫妻にご協力をいただきまして、塾のことを真剣にかつ明るく前向きに考える会にしたいと思っています。今年こそは是非、全国の皆様のお顔が直接拝見できる実りある研修会にしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

さて、今春の香川県高校入試の状況をご報告いたします。香川県の公立高校一般入試は、3月7日学科試験、翌日に面接試験が行われました。入学定員は5954名で昨年の5961名と比べて7名の減少です。高松東、高松南などで定員の増加があり、観音寺、三本松などで定員が減少しました。競争倍率は進学校である高松高校が1.13倍、丸亀高校が1.08倍となりました。高松は倍率が低下しましたが、丸亀はわずかに倍率が上昇しました。香川県下の最高倍率は善通寺第一高校デザイン科の2.26倍でした。今年から高松西高校と坂出高校でも推薦入試が実施されることになりました。

問題傾向としましては、数学が6頁、英語が7頁の問題量に対して、理科・社会はともに14頁ずつであり、長い問題文や多くの資料やグラフを読み解く必要があるという形式に変わりはありません。数学では箱ひげ図に関する問題が出題され、規則性や連立方程式に関する問題はやや長く複雑な説明の読み取りを要する出題がありました。社会では記述問題が公民分野で4題、社会全体でも10題と多く出題されました。制度や用語の正しい理解や、資料の背景事情を読み取ることが要求されるようになっています。国語の作文ではクラスメイトの意見に続いて発表する意見を書かせる問題、英語の英作文では複数の選択肢から自分の意見を選んで理由を答える問題で、いずれも3年連続同様の形式でした。

3年前より実施されているインフルエンザ等での欠席者に対する追検査は3月11日・12日に実施され、新型コロナウイルスによる欠席者に対する追検査は3月19日に実施されることになりました。

皆様の今年度のますますのご活躍を期待いたしまして、エリア報告とさせていただきます。

賛助会員紹介

＜東京都北区＞

桜丘中学・高等学校 ―アウトプット指導・個別指導とICT活用―

石田 修一

JR京浜東北線・東京メトロ南北線の王子駅から徒歩7分に位置する本校は、1924（大正13）年の創立で「勤労と創造」という校訓のもとに、2024年で創立100周年を迎える共学校です。現在の生徒数は、中学生約500名、高校生1000名、合計約1500名の生徒が在籍しています。

大学進学状況は、特に国公立大学の入試科目である5教科7科目、得意・不得意科目もあるなか、バランスよく伸ばしていく計画性にこだわり、サポートした結果、今春の卒業生は国立難関10大学である北海道大・九州大・神戸大はじめ47名が現役での国公立大学合格、私立も難関大学に多くの生徒が合格しました。また、海外大学にも12名の合格者が出ました。近年、大学入試の選抜方法も多様化しています。受験方法の分析・検討に注力し、一人ひとりの性格や強みを生かしながらアドバイスをしています。

中学は、このところ、実受験者数が毎年過去最高人数を更新しており、高校は新たな4コース制が3年目に入りました。変わりゆく社会や大学入試で求められる能力を見極め、夢や興味・関心にあわせて、さまざまな体験や学びの機会を提供していくなかで個人の強みを見つけ、伸ばしていく教育活動を展開しております。

また、SNSの目覚ましい発達の時代だからこそ、対面での「コミュニケーション・プレゼンテーション能力」の育成を重視し、行事のみならず日常生活においても「MCシステム」という日直の進化版の取り組みを実践しております。お互いに「相手の存在」に関心を持つこと、たとえ目の前にいなくても「相手の存在への敬意」を前提とした発信力の育成に努めております。

さらに、本校の大きな特色として「アウトプット指導と個別指導」に注力しています。時代は「一家に一台の固定電話から、一人一台のスマホ」の時代へ、「集団重視から個別重視」の時代に移っています。伝統的な学校教育の強みは「一斉指導によるインプット教育」にありますが、一方で、今すでに社会や大学入試で求められているのが「表現力」や「発信力」などのアウトプット教育です。このために欠かせないのが「個別指導」への対応となります。例えば、総合型や推薦入試に挑む生徒全員に対して、担任に加えて、校長以下、全教員により、マンツーマンで個別指導を担当し、「小論文個別添削講座」なども実施し、約75%の生徒が総合型・推薦入試での合格を勝ち取っています。

また、個別指導の充実のために、ICTは非常に便利なツールです。例えば英語指導であれば、スピーキングスキルの育成も個別指導が圧倒的に効果的です。提携している海外語学学校の先生とのオンラインでの英会話レッスンや、普段の授業でもICTは音声ファイルのやり取りも可能ですので、ネイティブ教員が生徒一人ひとりの発音指導で積極的に活用しています。すでに立教大学は全学部の一般入試で英語筆記試験を廃止し、英語民間資格スコアと共通テストによる判定に完全移行しており、慶應大学もいよいよ英語4技能方式を導入しますので、今後、英語4技能対応の重要度はますます高まります。

最後になりますが、私たちは世界とつながり、世界の影響を受けながら生活する時代を迎えています。生徒が将来、就職活動や仕事のとき、究極的には相手から「この人と一緒に働きたいな」と思ってもらえれば、その生徒は絶対に生きていけると思います。そのために、生涯にわたり、自分の強みを磨き続け、誰かの役に立つことにやりがいを感じ、しっかりと生活できるようになる生徒の育成を実践してまいります。

桜丘中学・高等学校
https://sakuragaoka.ac.jp

＜東京都千代田区＞

麹町学園女子中学校・高等学校

校長　堀口 千秋

本校は名前の通り千代田区の麹町にあり、東京メトロの麹町駅、半蔵門駅から1～2分、JR市ヶ谷駅や四ツ谷駅からも10分と通学には非常に便利です。生徒の安心安全を心がけ、登下校などをICカードで管理して保護者に連絡が届くシステムです。

中学1年生が4月25日から2泊3日で山中湖畔のオリエンテーション合宿に行ってきました。コロナで実施できなかった様々な行事が動き出し、生徒達の楽しそうな顔や元気な活動を見ることができました。文化祭（葵祭）や体育祭、ニュージーランドの海外研修も再開しています。学校で学ぶのは教科の知識だけでなく、その知識を基に自分の考えをコミュニケーションを通じて友達と高め合うことではないでしょうか。

学校は楽しくなければならない、ただし楽しいだけではいけない。というのが私の教育方針であり、本校の校訓は「聡明・端正」です。具体的な取り組みとしては「豊かな人生をみずからデザインできる自立した女性を育てる」ことにあります。女性の社会進出が本格的になり、統一地方選挙でも多くの女性議員が当選を果たし、これからはまさに女性の時代を迎えようとしています。家事や子育てに縛られていた時代から解放され、より充実した人生を送ることができるように考え、行動して欲しいと願っています。

本校では授業はもちろん、探求を扱う「みらい科」という授業などでもipadを使って調べ、話し合い、プレゼンテーションを行います。更に高校ではその取り組みを論文の形でまとめます。ここ数年大学入試で急速に増えている「総合型選抜」もこのような取り組みを評価していただく入試になっています。

本校のパンフレットに書かれている「アクティブ」とは今までのように教員が一方的に説明して、生徒はただ座って聞いているだけという座学とは異なり、中学の英語では文部科学省「英語教育の在り方に関する有識者会議」委員である安河内哲也先生を特別顧問に迎え、音声活動中心のリズムに乗って発音し、歌や、クイズなどを取り入れた英語が好きになる授業を展開しています。また、英検の早朝講習なども実り始め、2023年3月時点で高校では準一級5名、2級171名、準2級164名。中学でも2級23名、準2級68名が取得しています。一方、現在多くの大学で理系の女子学生を求めており、私自身が理科の教員なので、理科本来の楽しさを伝えるべく今年の中学1年生からティームティーチングを受け持っています。入学前の春休みに出した「理科の疑問・質問」には全員がタブレット端末を使ってたくさんの疑問を提出してくれました。本校には二つの実験室と二つの理科講義室が用意されており、教科書通りの「成功するための実験」ではなく、自分達でできるだけ実験方法を考え、失敗したときに何故失敗したかを検証することが重要と考えています。アクティブ・サイエンスは始まったばかりですから結果が出るまでには時間はかかると思いますが、教師も一緒に楽しいと思える企画を立案中です。

オリエンテーション山中湖

中1オリエンテーション「ブレインストーミング」

理科実験

校訓「聡明端正」

麹町学園女子中学校・高等学校

https://www.kojimachi.ed.jp

＜東京都中央区＞

株式会社 POPER

―「人」の価値を最大化するためのIT活用を―

代表取締役　栗原 慎吾

弊社は、塾やスクール向け業務管理プラットフォーム「Comiru（コミル）」をご提供し、業務効率化と保護者とのコミュニケーション強化のお手伝いをさせていただいています。おかげさまで、全国4,000教室、ご利用生徒数31万人を突破し、2022年11月15日には東京証券取引所グロース市場に上場いたしました。

「教える」をなめらかに

「Comiru」開発のきっかけは、私自身が塾経営に携わる中で感じた課題感にありました。それは、生徒に向き合う時間を最大化させたくても、溢れかえるアナログ業務や事務作業に追われて思うようにいかないということです。そこで、ITを活用したシステム化で業務効率化を図り、生徒に向き合う本質的な価値を創出したいとの着想を得ました。

そのような原体験を元にしているためか、弊社は教育への人の介在価値を最大化するために何ができるかに徹底的にこだわっています。人は人との関係性から学び、感動を得て、成長する。どれだけデジタル化が進んでも、その本質は変わらないでしょう。だからこそ、その障害になっているものを取り除きたい。そんな思いから弊社では”「教える」をなめからに”とのミッションを掲げています。

教育の大転換期。知識だけでなく、多様なスキル・人間性の養成を

変化の激しい時代において、教育に求められるものも大きく変わってきています。決まった正解であればAIやGPTが弾き出してくれる中で人間に求められるのは、単なる知識ではなく、課題解決スキルや問いそのものを生み出す創造性、変化に対応する柔軟性や協働する力など、詰め込みでは決して会得できないソフトスキルや人間力なのではないでしょうか。

この状況において、塾を始めとする私教育の果たす役割は大きいと考えています。目標に向けた「勉強」や「スポーツ」といった題材を通して、知識やテクニック以上の学びや気づきをいかに与えられるか、課題解決力やセルフコントロール、人間力の幅と深みをいかに広げていけるかが問われていくようになるでしょう。それは、生徒に寄り添い、伴走し、コーチングする先生の存在があればこそ、生徒がメタ思考を発揮し、実現されるのではないでしょうか。

教育に求められるものが変わるからといって、新しいカリキュラムやプログラムをオンするのではなく、「勉強」という題材そのものから学べるものを最大化し、豊かにしていく。教育の大転換期にあるからこそ、より生徒と先生という「人」と「人」の関係性の強化が求められると考えています。深い学びは信頼に基づく密度の濃い関係性の中でこそ、実現するはずです。弊社は塾運営の業務改革を通して、そのお役に立ちたいと考えています。

3つの展望

今後の弊社のサービス展開としては、まず次の3つを考えています。

1つ目は、塾・スクール運営の決済に関するソリューション提供です。塾・スクールのビジネスモデルの中で、保護者から授業料をいただく決済機能は非常に重要です。Comiruも決済機能は提供しているもののまだ最適化されていない認識なので、UIがより優れたものに開発していく方針です。

2つ目は、BIツールとしてのComiruの機能拡充です。現在Comiruには、生徒の出席状況や宿題提出、成績推移から保護者とのコミュニケーションまであらゆるデータが蓄積されています。これらを分析し、退塾アラートの立っている生徒やフォローが必要な生徒を洗い出し、アプローチに繋げることで、安定した塾経営にお役立ていただきたいと考えています。

3つ目は、全国の塾・スクール経営者や先生の知識・経験の集合知化や横の繋がりの創出です。現在はワークショップの開催や、小規模の意見交換会を行っていますが、徐々に拡充していきたいと考えています。

今後ともComiruを通じて、塾・スクールをサポートさせていただくことで、未来を切り開く人材の育成に少しでも貢献していけたらと考えております。引き続き、ご指導の程、よろしくお願い致します。

株式会社POPER

https://poper.co

私塾ネット 第20回全国塾長・職員研修大会報告

[2023.4.23]

文：私塾ネット副理事　中村直人

4月としては少し暑い2023年4月23日（日）の午後1時より、大井町のきゅりあん7Fイベントホールにて、全国私塾教育ネットワーク・第20回全国塾長・職員研修大会が開催されました。長引くコロナ禍のため、昨年はWEB参加がメインでしたが、久しぶりに会場での研修大会となりました。一部、ZOOM参加あり。

今回は『言葉を届ける』（声掛けひとつで子どもは変わる。）をテーマに、学校法人東洋大学京北幼稚園園長・文京区私立幼稚園連合会会長の川合正先生に、記念講演をお願いいたしました。先生は、京北中高等学校、京北学園白山高等学校にて校長を11年務められ、東洋大学講師そして現職に就きながら、各地の教育委員会や公立私立の小・中・高校からの要請で、今までに500回以上の講演を行い、親子のコミュニケーションの大切さを訴えてきました。幼稚園から大学までと幅広い現場経験から想うこと、これから私たちがどう子どもたちと関わっていくのが良いかを伝えていただきます。当日は、参加人数73名。内訳：会場70名、WEB参加3名でした。

【第1部】情報交換会

開場13：00　大会 13：20〜14：10（進行 鈴木正之）

鈴木正之

鈴木先生の突然の指名で話をしていただく、「むちゃぶり」で始まりました。最初の被害者は、私塾ネット最高顧問の谷村志厚先生。いま話題のChatGTPで「学習塾の将来は？」と尋ねてみたらで、一節お話しいただきました。次は、アロー総研の田嶋裕さん。次いで新入会員及び入会希望の方たちに一言話をしていただきました。

その後ディスカッションに移り、テーマは「未来の子どもたちに伝えたいこと」。各テーブルに分かれたグループで自己紹介の後、議論をして15分後にリーダーが話し合いの報告をしました。一種のアイスブレークと次の川合先生のお話につなげる目的です。小休止の後、会場を変えて第2部に入りました。

【第2部】研修大会

開場14：10　大会14：30〜17：00（進行 仲野十和田）

①オープニング14：30〜14：45

仲野十和田

「全国研修大会を振り返る」という過去の研修大会をまとめたムービーが流される。今は亡き懐かしい先生方のお顔、今の先生方の若かりし頃の映像に、会場から声が上がる。

次に、私塾ネットセンター理事長・田中宏道先生の主催者挨拶。その後に、ご来賓祝辞を全国学習塾協同組合の森貞孝理事長よりたまわりました。

田中宏道

森貞孝 AJC理事長

最初にスマホを手に淡々と祝辞を述べられましたが、終わるとすぐ「今話題のChatGTPにて祝辞を作ってみました。」と種明かしをされました。その祝辞自体も決して不自然なものではなく。これはキーワードの入れ方が絶妙だったのか。何よりも、齢90歳にならんとする森先生の最先端技術への飽くなき好奇心には驚かされました。

②記念講演14：50〜16：50

『言葉を届ける』　学校法人東洋大学 川合正先生

川合 正 先生

先日幼稚園である子が、「園長先生、白い石が砂の中に入っていたよ。」とやってきた。「へえ、石なの？もっとよく見せて。」と言うと、本人もよく見て「あっ違う、卵のかけらだ。」「もっとよく、並べて見て。」「違う、これ貝だっ。どうして砂場に貝があるの、園長先生。」その時に、「へえ、なぜだろうね。考えてみようねぇ。」と言った。すると、次の日に来て、「あのねえ、園長先生。園にある砂はねえ、みんな海の方から持ってきて、ここに敷いたみたいだよ。砂場の砂も、みんな海からの砂なんだね。」と気づいたようです。貝を持ってきたときに、私が「それは貝だよ。海から持ってきた砂だからね。」と言ったら終わっていたけれど、その子はすごい発見をしたんですね。そして、いろんな先生達にそれを話したんです。どうです皆さん、幼稚園って楽しそうでしょう。こういう職場で、毎日子供たちの言葉を拾おうと思っています。言葉を拾うときには、我々が邪魔をしてしまってはいけないんだと、毎日実感しています。

本日は、『言葉を届ける』というタイトルを付けました。皆さん方は、普段から毎日子供たちに、生徒たちに、学生たちに、いろんな言葉を届けられておられますが、今日はそれをちょっと整理してみようと思います。

1. 目の前の人をより良く知る（アイスブレーク）

◇履歴書的インタビューとチェーンインタビュー

（会場の方たちにマイクを渡し、即先生について質問をしてもらい、それに答える。）

Q:「先生はなぜ、子供たちに答えを与えるのではなく、質問しようと思ったのですか。」A:「邪魔をしないためですよ。子供たちの自主性の邪魔をしないためにはどうすればよいかを考えて、自分がたどり着いたところでしょうかね。」（以下省略）今のは、皆さんが知りたいことを質問したので、調査的インタビューといいます。

実際子どもたちと接するとき、しゃべれない子は困りますよね。また質問も難しいです。そこでチェーンインタビューというのを使います。相手の言った言葉のみ使い質問していく。それ以外は言わない。するとその相手や問題点の全体像が立ち上がってくる。「私は三重県生まれです。」「三重県のどこですか？」「松阪と伊勢の間の寂しい村なんです。」「寂しい村なんですか？」「こんな寂しい村は早く飛び出したいと思っていたんです。」…以下続くが省略。履歴書的なインタビューにも使える。会話の基本はここにあるので、この技術のマスターは非常に重要。

◇音リレー

先生が手をたたいたら、端から順に間髪を入れず手をたたいていく、端まで来たら後ろに折り返す。最後の人は2度たたいて終了。不思議と会場の一体感が生まれた。落ち着かないクラスを一つにまとめる効果がある。ここまでが、アイスブレークで、すこしほぐれる。

2. 子供の行動に介入する時の留意点を考える（グループワーク）

会場を6つのグループに分け、①危機介入②SOSの発信③習慣化の恐れ（明日テストなのにゲームばっかりしている等）④うっかりミス（教室のガラスを割ってしまったとか）⑤反抗（思春期）⑥親や教師への不満　これらについてどう対応して入っていくか数分間そのグループで話し合ってもらう。話し合い終了後、先生が各グループを回り、指名あるいは代表者に話してもらう。それに対し的確に分析・評価し、良いところや補足のアドバイスをされる。

3. 怒ると叱るはちがう

怒る…ブラックエンジン（恐れやプレッシャーによる動機、昔の高校野球監督など）

叱る…ホワイトエンジン（感謝や貢献、信頼からくる動機、最近の高校野球監督など）

違いが分かったら、ちょっと普段自分がやっていることをチェックし直してみてください。子供を怒るとき感情的になってないか、自分はなぜ褒めているのか、自分の状態をその場で点検するメタ認知の能力が、未来の子どもを預かっている皆さんには重要なのです。

4. 褒めれば子どもは伸びるのか？

叱り方が分かったところで、じゃあ褒めていれば伸びるのか。「褒めれば子どもはだめになる」という本には、褒めてばかりいると子どもは自己中になり、社会に出て打たれ弱くなるということです。自信過剰になるということですね。褒めることも難しいのです。褒めるときのポイントのトップは、結果でなくプロセスを褒めることです。以下褒めるときも含めて注意点4つ。

◇結果よりもプロセスを褒める。◇具体的に子どもの好ましい点や行為を褒める。◇感謝していることを素直に話す。◇ダメなものはダメと毅然とした態度で接する。躾のない教育はない。

5. 信頼関係がすべての始まり〜チェックシート〜

信頼…生徒に信頼される授業をしているか。（判定○△×）

観る…生徒の特長や状態をいつも観察できているか。（判定○△×）

聴く…生徒や保護者の話にしっかり耳を傾けているか。（判定○△×）

話す…相手を尊重し、自分の言葉を明確に伝えているか。（判定○△×）

協働…同僚や上司と相談しながら物事を進めているか。（判定○△×）

6.「YouメッセージをIメッセージに変える」だけで、親子関係は劇的に変わる。

（ワークショップ）いつも18時までには帰ってくる中2の娘が20時になっても帰ってこない。心配して待っていると、やっと帰ってきた。あなたならどう娘に声を掛けるか。参加者にそれを書かせる。

「どうしてあなたはこんな時間まで遊んでんの！」→「うるさいわねえ。」

「私、事故でもあったか本当に心配してたのよ！」→「ごめんなさい。」この差は大きい。

子ども・生徒を叱るときは、Iメッセージで行きましょう。

7. 子どもとの相談にのるワーク〜カウンセリング的アプローチ〜（4人ワーク）

（ワークショップ）「あ〜あ、学校へ行くの嫌だな」と子どもがポツンと言った。あなたは、どう声掛けしますか。ワークシートに、生徒→先生→生徒→先生と右回りで、4人でワークシートを完成させてください。紙の上のロールプレイ。

終わって、川合先生が各机を回って発表させ、批評する。いろいろなパターンがあり面白い。

カウンセリング的アプローチ:共感（受容）→確認→追加→思考の共有

ここで時間をたくさん使いましたので、最後は少々駆け足になってしまいました。

8. やる気のない子にやる気を出させる〜ペップトークの実践〜

寄り添う人になる→気づかせる人に→未来に導く人に→勇気づける人に

9. 未来を切り拓く対話（ダイアローグ）の基本

対立から共生へ（ディベートのように対立するではなく）

メタ認知→判断評価の保留→傾聴→学習と変容→リアルタイムリフレクション

10. 子どもの相談にのる態度を点検する（二人組ロールプレイ）（省略）

11. シェアリング（分かち合い）（省略）

その他、スマホなどのスクリーンタイムを減らすお話など、残念ながら紙面の関係で省略させていただきました。

かなりのボリュームの内容を入れてしまいましたが、Iメッセージ、カウンセリング的アプローチ、チェーンインタビューなどが使えれば、子どもたちとの会話が進むはずです。

皆さんとともに、この子どもたちを絶対に未来に届けましょう。

③振り返りと感謝

16：50〜17：00　私塾ネット会長　鈴木正之

【第3部】懇親会

17：30〜19：30（進行 渡辺浩）

※　P.14に川合正先生の著書のご案内があります。

エリア報告 北から南まで

報告　扇野 昭弘（学習塾 TRM 登龍門・青森県）

青森県の現状は、大手の学習塾が青森から撤退、青森市内の老舗の塾が3か所から1か所に縮小しました。また、青森市の1番の進学校が定員割れし、再募集したものの定員を満たすことなく、受験した全員が合格しました。塾の必要価値が問われているのではと、思われるほどの悲惨な状況となっています。当塾は、新聞広告、高校名鑑の広告、ネット広告、バスの広告、福利厚生を目的にした広告、チラシ広告といろいろ手を尽くしましたが、反応なく、今は自分の心と体を鍛える時期と悟りました。

一昨年、コロナで無くなったマラソン大会に代わり、20年前のロードバイクを引っ張り出し、サイクルイベントにも参加するようになりました。自転車で斜度10%を超える坂道を登るのは、想像以上に過酷で、ペダルとくっついているシューズを脱ぎ、自転車をひきながら走り、靴下が破け、足の裏からは血が噴き出る経験をしました。しかし、昨年は69のカーブをもつ岩木山の8合目まで登る「岩木山ヒルクライム」や、ドラゴンアイで有名な「八幡平のヒルクライム」に挑戦し、何とかFinishすることができました。夏に開催されたにも関わらず、ゴール地点は霧が立ち込め、とても寒く、今年はゴール地点に冬のジャンバーを預けようと思っています。

ヒルクライムの楽しさは、ダウンヒルという、登った坂道を、ペダルを踏むことなく、1列になって、みんなで降りてくることです。時速50キロは出ます。ランとの違いは、景色の変化だと思います。平坦な道では、ゆっくり景色を楽しみながら、1時間で25キロの景色を堪能できます。ランは、1時間で10キロの景色、下手すると地面しか見ていない時もあります。

岩手100キロライド、日本チャンピオンと

去年は、①田子町８０キロサイクルイベント、②岩手100キロ（50キロでリタイヤ）、③岩木山ヒルクライム、④陸奥湾1周のサイクルイベント、⑤秋田100キロマラソン（50キロでリタイヤ）、⑥夏泊80キロサイクルイベント、⑦アップルマラソン（フル完走）、⑧岩手100キロサイクルイベントに参加しました。今年も、私自身進化しながら、新しい生徒を受け入れ、八甲田山の山頂からは、山形県と秋田県の境界にある鳥海山が見えるように、頑張っている人には、頑張っている人がよく見えると教えてあげたいです。

でも、最近の子供はこのような話を聞いてくれません。自分がこたえる問題の答えばかりを気にして。

ということで、この場を借りて、扇野の去年を公表しました。ありがとうございました。

報告　小林 三博（熱血指導塾わせスタ・東京都）

はじめまして、この度私塾ネットに入会させていただきます「わせスタ」の小林と申します。よろしくお願いいたします。

■自己紹介：生まれも育ちも東京の下町足立区です。大学卒業後は広告会社に勤務し、その後留学手配会社を立ち上げるのですが、収入がままならない時に塾講師アルバイトをしていました。その時の経験が強烈に楽しく、2017年に自分の塾を作ってしまいました。趣味はバンドやキャンプです。2児の父です。

■塾の紹介：東武大師線の大師前駅から徒歩10分、東京足立区の住宅街にある地域密着型の塾です。生徒の割合は中学生が5割、高校生が3割、小学生が2割。指導スタイルは講師1対生徒2の個別指導です。

まだ経験が浅い塾なので、現在は「塾を良くすること」に力を入れています。例えば講師には『授業も大事だけれど、まずは生徒と仲良くなことが大事』とお願いしてます。塾に来る習慣がつけば、勉強させることができます。

また生徒と仲良くなるために「傾聴」に力を入れています。とにかく生徒の話を聞くこと。講師は「学校で何をした」など気さくに話しかけ、生徒の話を引き出していく。仲良くなれば生徒からどんどん話してくれるようになります。勉強は大変だけど、塾は楽しいと思ってもらえていると感じます。今年度も塾を良くする工夫、成績を上げる工夫に取り組んでいます。

■近況報告：わせスタのキャッチフレーズは「熱血指導塾」です。どんな生徒にも最後まで責任を持って指導したいと思っています。一緒に頑張ろうという気持ちを生徒に伝えるため、今年度は生徒面談を多く行う予定です。また昨年から動画の活用を試しています。講師紹介動画を撮ったり、YouTubeで学校情報を発信したりと模索中です。学校見学や説明会は生徒のモチベーションが上がるので、今年度は学校説明会の開催もチャレンジしています。

今後も新しいことにチャレンジして、楽しく塾を運営したいと思います。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

報告　石倉 朋樹（塾まなび・広島県）

塾と地域のお店のコラボ！「まなび検定」を開催しました。

4月に塾まなびで第2回「まなび検定」を実施しました。思い起こせば3年前、コロナの第1波で地域のお店にまったくお客さんが来店されない時期にまなび検定を行い、地域のお店にお客さんを呼び込もうとしたのが始まりです。「まなび検定」は小学校4年生から新中学1年生を主な対象として、地域の力で地域の子供たちを盛り上げようという企画です。

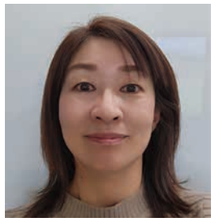
今回もまず選定図書を読んでもらい、星と星座についての授業を行い、楽しみながら学ぶことを目標にしています。講座の最後に簡単ではありますが、星と星座についてのまなび検定を行います。

生徒たちがたくさん受検してくれていますが、お友達を誘ってくれたり、ホームページで案内をして一般のお子さんにもご参加いただけるようにしています。

特に子どもたちを引き付けるのは、みんながもらえるプレゼント企画。地域のお店で使えるクーポン券です。美容室のトリートメント無料券、カフェの半額券、就労支援事業所が作る日替わり弁当無料券、リンパマッサージ、ワインとおでんのお店の1組様20%オフ券などなど。お母さんやお父さんも喜んでいただけるように、たくさんのお店に協力いただいています。そんな中で一番子供たちが目を輝かせるのは、ケーキ1個引換券です。まなび検定のご案内のときに、「ケーキが1個もらえます。」と話すと、お子さんがパッとお母さんの顔を見る反応がとても可愛らしいです。

どのお店も知っていただくいい機会になると、好意的にご協力いただいています。あることは知っていたとしてもまだそのお店を訪れたことのないご家庭に直接、お店に足を運んでいただけたら私自身、とてもうれしいです。もちろん、自塾を知っていただきたいという気持ちもありますが、地域のお店の方々に協力いただいて、いっしょに地域の子供たちの知的な関心を育む機会になればと良いなと考えて取り組んでいます。

報告　谷本 里美（ユウリ進学塾・香川県）



令和５年から瀬戸内留学、全国から生徒を募集「香川県」で輝く学校生活をと県が呼びかけスタート。今年度の入試を振り返りました。

入試内容は、読解力＋思考力＋記述力を要する問題が増加傾向。平均点は教育委員会の目安138点（55%）より少し高めの予想です。教科ごとの分析としては、**【国語】問1小説(読みやすいが記述やや難)、問２古文(簡単)、問３説明文(読みづらく記述難)、問４作文、【数学】問1計算問題、問２図形２(3)難しい、問３関数他基本問題、問４読解力思考力が必要※例年よりもびっしり文字だらけで読みづらい、【英語】問1リスニング、問２～問４(文法を理解していれば解けるが記述問題難、問５英作文(昨年同様)、【社会】問1公民(記述増えるも簡単)、問２問３、【理科】問1地学(簡単)、問２生物(簡単)、問３化学(読解力が必要)、問４物理(観察や実験における目的や操作方法を問う問題が多く出題)**といった印象でした。

さてさてこれらの受験に勝ち抜いてきたユウリ卒業生たちは、中学で入塾してからは、３年間マスク着用の日々でした。とにかく元気で明るい子が多く時にはこちらも疲れが出てしまう印象でしたが、その中でも成績が伸びる子は要領よく信頼関係を築く事が上手であり、塾長⇔生徒⇔保護者の形で保護者から手紙やメールをいただく事も多く、受験間際ではLINEでのやり取りも増えました。

またユウリでは宿題が多いので1年生の頃は、「なんで宿題が出来てないの？」の問いに、「時間がなかったんや」「できない、わからない、無理」と反省の色もなくサラリと平気で言う生徒もいました。なぜ「すみませんでした」と言わないのだろうか。宿題が出来ていないなら、まずは謝罪しよう。それから、正直に出来なかった理由を伝えるべきじゃない。この元気な学年にはことごとく言い続けてきた気がします。体調が悪いなら気持ちはわかる。気がつけば、私も「第2の母親」を続けてきたようです。だらだら言い訳していた子供たちもやがては気持ちが伝わったのか、受験間際では文句も言わず自分達の為に頑張りました。

最後の授業ではやるべき事をしっかり見据えて自信を持って本番に臨んでほしいと送り出しました。がんばってくれてありがとうと恒例の「オモシロユウリ卒業証書」授与式をして巣立ちました。

この子達は、何はともあれ可愛らしくて愉快で変な奴らと言いましょうか、濃い時間を一緒に過ごした大事な『仲間！』でした。

ユウリでは、30数年余り何一つとして同じものはないドラマがスタートしています。私の体力がいつまで続くことやら～です。内緒ですが今年の３年生はレベルが高く大いに期待できそうな気がします(笑)。

日本民間教育大賞授賞式

―清水妙子先生が受賞―

文：私塾ネットセンター広報部長　中村直人

令和5年3月22日、株式会社 塾と教育社主催の日本民間教育大賞の授賞式・記念講演会が、東京神田・学士会館において催されました。午後2時の開会の後、株式会社成学社代表取締役会長の太田明弘氏による、記念講演「弱者の塾経営戦略・生き残るための深化と探索」がありました。開成教育セミナーとして1982年創塾。起業8年目に少子化とバブル崩壊により経営試練に直面。新市場を求めて他地域、他分野（個別指導）への展開を始め、集団と個別の二兎を追う経営にチャレンジ。個別も補習から進学に切り替え、大学受験まで責任対応できる小・中・高一貫教育を実践する。首都圏・海外進出や日本語学校など学習塾以外の展開も行っており、「一隅を照らす教育」を共通の教育理念としている。次に、日本民間教育大賞の授与式があり、本年は最高功労賞に4名、特別功労賞に1名、以下の通り受賞されました。

◆最高功労賞［受賞理由］

・川畑卓也氏（アイ・アカデミー）
［群馬県を中心とする地域一帯の民間教育の発展に寄与するとともに全国の民間教育事業者の交流に寄与した功績］

・清水妙子氏（誉田進学塾）
［千葉県を中心とする地域一帯の民間教育の発展に寄与した功績］

・堀川一晃氏（ウィザスグループ）
［学習塾事業や通信制高校の運営・キャリア支援事業を通じて民間教育の発展に寄与した功績］

・増澤空氏（株式会社ティエラコム）
［学習塾事業を通じて民間教育の発展に寄与するとともに全国の塾事業者の連携に寄与した功績］

◆特別功労賞［受賞理由］

・故 清水静海氏（（公財）日本数学検定協会）
［数学検定事業等を通じて全国の民間教育の発展に寄与した功績］

今年は、私塾ネット会員の誉田進学塾の清水妙子先生が最高功労賞を受賞されました。受賞おめでとうございます。当日はご高齢のため、ご子息の清水貫先生が代理出席されました。

清水妙子先生

清水貫先生

妙子先生は、1931年生まれ。戦後女子が大学に進めるようになった新制大学第1期生として49年に京都教育大学教育学部に進学、人文地理学を専攻。その後、日本最古の公立学校である京都市立柳池中学に赴任し教鞭をとりましたが、ご主人の東京転勤に伴い退職。専業主婦を経て、78年千葉市に「誉田進学塾」を開塾。以後、45年に渡り地域の子供たちの学習支援活動に従事されてきました。

最終回 Vol.7 講師のための英文法

Grammar for English Language Teachers

近藤 誠介（文化の森スクール・徳島）

英語教育考

「講師のための英文法」を連載させていただいて、２年近くになります。元々は息子のために書き留めていたものですが、ひょんなことから私塾ネット広報に載せていただくことになりました。内容的には、長年英語を教えていて、常々疑問に思っていたこと「三単現にはなぜ s をつけるのか」「不定詞は常に原形なのになぜ不定詞なのか」「仮定法の法って何」…に対する、得た答えを書き綴ったものです。文法を理解することで、より深い文章の理解が可能となります。文法などどうでもいい、会話が通じればいいという考えもありますが、訳読か？会話か？などの議論は、実は、明治時代より数多く繰り広げられてきました。

■小学英語教育の賛成論

①外国人との意思疎通のため
②進学準備のため
③児童は模倣・記憶能力が高いから
④英語は国際語だから
⑤貿易・学術移入に必要だから

■小学英語教育の反対論

①児童の思考力等の不足・過重負担
②教師の能力不足・供給不足のため
③児童の英語力・運用力不足のため
④英語は生活・仕事に不要だから

以上の論点をどう思われますか？実は、これは“明治期”の教育雑誌等に掲載されたものです。とても百年以上も前の論議とは思われません。

最終回 Vol.7 講師のための英文法
Grammar for English Language Teachers
近藤 誠介（文化の森スクール・徳島）

ここに、岡倉由三郎―岡倉天心の実弟で、英語英文学・英語教育・言語学・国語学の大家―が１９１１年の『英語教育』に発表した小学校英語教育に対する意見があります。

「その成績は今日までまだ見るべきものをだしたことが無い。してみれば理論上より見ても、また実際の結果より見ても、小学校に英語科を置くこの無益な次第が解る。」
「小学校の英語は、むしろ名のみに止まって、いわば徒労の事業と見ねばならぬ」

その理由として、とくに教員の力量不足と国語力の養成が先決であることを強調しています。

「初歩の英語教授は最も大切であるから、然るべき教師で無い者が、幼稚なる学生に対して、なまなかの教え方を行うならば、後になって矯正をするにも甚だしき困難を感じる」

高校生を教えていて、このことを痛感させられます。
そして、「実際母国語の知識が、精密豊富なるものは、語学の進歩が著しいということは、学者の定論である。」
実際、外国語は母国語以上の力にはなりません。大学入試を考えて痛感するのは、生徒の国語力の低下です。日本語で読んで理解できない文を英語で理解するのは「無理ゲー」です。

小学校英語教育に関する論争は、全く令和の世にも通じるものです。以上は、『英語教育論争史』（江戸川春雄著）より引用させていただいたものです。

第一章　早く始めれば良いのか？からです。
第二章　優先すべきは訳読か？会話か？
第三章　目的は教養か？実用か？
第四章　英語は全員に必要なのか？
第五章　国際化時代に必要な英語とは？
第六章　外国語は「英語だけ」で良いのか？

どれをとっても、今日的な課題です。そして、どれも未解決です。それにもかかわらず今日、また同じ愚が繰り返されようとしています。

２０１３年、自民党の教育再生実行本部が「成長戦略に資するグローバル人材育成部会提言」を出しました。例の大学入試に外部検定試験の導入というやつです。安倍首相直属の教育再生実行会議には、英語専門家というより、財界の代表の意見等でことが決められました。「役に立つか」「企業の利益に寄与するか」経済界や一部の政治家からの実利的な発想で、「グローバル人材」育成策と相まって、英語教育が実用目的に一元化されてしまったのです。国語教育などもそうですが。個人的には、「人材」という言葉が嫌いです。人って、何かの材料なのでしょうか。経済界で人材登用は結構なのですが、教育の目標としてはいかがなものでしょう。
簡単に「グローバル人材」の育成といいますが、実用レベルに供する英語とは？
では、日本人が英語を実用レベルに高めるにはどれくらいの授業時間が必要とされるのでしょうか。アメリカ国務省語学学校（ＳＬＳ）の研究によると、外交官などの政府職員を派遣する際の語学教育の目途が以下のようなものです。
到達目標は「自分が専門とする仕事に使えるコミュニケーション力」で、０（運用能力なし）から５（母語話者レベル）の６段階中の３レベル。習得が最も簡単なカテゴリーは、フランス語、スペイン語、イタリア語の英語と同じ語族関係の言語で６００～７５０授業時間。
日本語、アラビア語、中国語、韓国語の４言語はカテゴリー４（超困難な言語）とされ、目標達成まで２２００授業時間が必要とされています。外交官のような高いモチベーションと高度な教育を受けた人に対して、優秀な教師が、１クラス４人程度の超少人数教室で、朝から晩までの集中特訓が行われる。さらに半年ほどの留学が推奨されています。
日本の学校教育においての小学校から高校までの英語の授業時間数は、１０００時間ほどです。文科省は、学校教育での英検の目標を掲げています。高校で２級では実用とは程遠いのでは。また、TOEIC では専門的なレベルの英語はまったく測れません。（猪浦道夫『TOEIC 亡国論』）ところで、仕事に必要な人は人口の２～３％にすぎないようです。
同じ著者が『英語と日本人』に関する新聞のインタビューで、英語の難しさをこう表現しています。

「学校教育だけで『使える英語』を身につけさせるのは、体育の時間だけで五輪選手を育てるのと同じくらい無理難題なのです。」

では、「使えない」英語を皆が学ぶ意義とは何なのでしょう。興味を持ったり必要に迫られたりした時に、自力で学べる「素地」を培うことです。「異文化に触れ、視野を広げることは、日本語を鍛え、思考力を豊かにすることにつながるんです。」
私はその意見に与するもので、限られた時間の中で、大学入試（２次レベル）、そして入学後のことを考えると、一番効果的に向上させられるものは、まずは、読む力です。リスニングにしても、読んで分からないものを聞いて分かるわけはありません。会話は現地で習った方が速いし、安いようです。読み書きのできる人は、すぐにしゃべれるようになりますが、その逆は厳しいものがあります。また、文法をキチンと学ぶことのできるのは、これが一生で最後の機会かも知れません。ここで、英語の先達の勉強法をご紹介します。
南方熊楠は、中学（旧制中学）時代、アメリカ人の書いた『金石学』を、辞書を引きながら翻訳し、英語力を向上させたそうです。中・高生の英語学習において、翻訳が効果的であることを示す好例です。
聞くだけで、英会話ができるようになるというCMはいつのまにか消えてしまいました。最近の英語教育では、文法・訳読中心の授業が批判されることが多いようです。辞書はできるだけ引かず、知らない語句の意味は類推しつつ、大まかな文意を取ることを推奨するむきも多いようですが。紙の辞書を引きながら翻訳するという当たり前の学習法が見直されてもいいころです。

参考文献：江利川春雄著「英語教育論争史」「英語と日本人」
斉藤兆史著「英語達人列伝Ⅱ」
おススメ：鳥飼玖美子、苅谷夏子、苅谷剛彦著「ことばの教育を問いなおす」

研修大会で講演いただいた、川合 正先生の書籍紹介

川合正氏の
著書はこちら

言葉を届ける 川合正 声掛けひとつで子どもは変わる。

記念講演
川合 正氏
学校法人東洋大学京北幼稚園園長
文京区私立幼稚園連合会会長

amazon

1950年三重県生まれ、学校法人東洋大学京北幼稚園園長。文京区私立幼稚園連合会会長。私立京北中学高等学校、京北学園白山高等学校にて校長を11年務め、その後東洋大学経営企画本部事務局参与、評議員を務めるとともに文学部非常勤講師（社会人基礎力、教職等）も長年に渡り担当。読売教育賞優秀賞や最優秀賞、東京都教育功労者表彰など多くの表彰を受ける。**著書▶『男の子がやる気になる子育て』（かんき出版）、『「動ける子にする育て方』（晶文社）、『いいとこ探しは魔法の言葉』（銀の鈴社）など多数。また、教育関係の論文も多い。**

私塾ネット以外の学習塾団体イベントにも参加できます！

学習塾団体合同会議
代表幹事 鈴木正之

学習塾団体合同会議は、首都圏に本部を置く学習塾団体の連絡会議です。昨年の12月に千葉学習塾協同組合35周年懇親会の懇親会を、学習塾団体合同忘年会も兼ねる形で行いました。亀山理事長、宮澤先生をはじめ皆様に大変お世話になりました。ありがとうございます。今年度の学習塾団体合同会議は、各団体間の共催や協力を推進していくと共に、全国学習塾協会35周年・塾の日シンポジウムの開催への協力をしてまいります。又、昨年同様に学習塾団体合同忘年会の開催を学習塾団体行事に合わせて行う予定です。今後とも、学習塾団体をまとめていく役割を担ってまいります。よろしくお願い致します。

学習塾団体合同会議とは：「社会のために、必要なことを、必要な人に提供する」

〔加盟団体〕公益社団法人全国学習塾協会、全国学習塾協同組合、NPO 法人学習塾全国連合協議会、私塾協同組合連合会、東京私塾協同組合、埼玉県私塾協同組合、茨城県学習塾協同組合、神奈川県私塾協同組合、千葉学習塾協同組合、全日本私塾教育ネットワーク

学習塾に通う子どもたちの未来、業界の健全な発展のために
学習塾団体合同会議

検索！
学習塾団体合同会議
https://godokaigi.com

私塾ねっと誌上句会「春夏秋冬」

再開第八回（谷村選＆評）

春風や弓射る人の袖そよぎ
お遍路をバックミラーに残し過ぐ　木内恭裕（徳島県）

お遍路の句は四国ならではの春の一景。私自身も愛媛の生れ育ちなので望郷の一句である。ただし同じ四国でも、徳島と愛媛ではお遍路事情が少々異なる。徳島は密にして愛媛は疎である。

妻ありて金婚式の春の宵
デイ友またねと手を振る春夕焼け　長江勝秋（神奈川県）

長江さんご夫妻は4月22日に金婚を迎えられたそうだ。おめでとうございます。お二人で歩まれた半世紀の時間は、英数学院の歴史に重なりそしてそれは日本の学習塾の足跡そのものである。

こでまりの花房無垢の白小紋
気動車に揺られ伊賀路は春爛漫　中村直人（神奈川県）

小手毬の表紙写真を撮られたのは中村さん、ついでに素敵な一句も添えて下さった。こでまりの小紋は清楚ながらも艶やかな装いであろうと想像する。

スーダンに銃弾の雨夏嵐
転勤に一輪挿しの藤の花　監物一男（埼玉県）

時事俳句を得意とする監物さん、今回は最新ネタのスーダンである。アフリカの地での内乱騒動だが、グローバル化の現代では、事件はまたたくまに世界を駆け巡り日本の地で五七五に詠まれる。

金婚の手をとり合いて桜坂
葉桜や新任教師襟正し　谷村志厚（千葉県）

長江さんご夫妻の金婚に贈る一句だが、実は谷村も4月8日に金婚を迎えた。掲句は自分の金婚を詠むのには照れ臭い内容だが、他の方にお贈りするのには申し分のない一句だと自画自賛する。

編集部からお願い

次号は7月発行の夏号です。投句はお一人3句まで夏の季語でお願いします。投稿は、谷村までメールでお送りください。締切は6月末日です、ふるってご投稿ください。

●メール：t-shiko.1949@aim-net.co.jp

私塾ネットセンター 事務局通信

事務局長　長江 広紀（英数学院・神奈川）

4月20日、オンラインで代表者会議が行われ、前年度事業報告・決算、今年度の事業予定・予算等が承認されたことを謹んでご報告いたします。

さて4月23日の全国研修では全国の先生方と再会できました。惜しむらくはゆっくりお話しができなかったことです。ただ初めて私塾ネットの会合に参加したり入会を希望したりする9団体13名の方と交流し、他の先生方のお力添えもいただき、2団体が入会されましたのでご紹介いたします。

山本太志先生（四季青舎　千葉県）はここ数年毎回エリア関東の研修会に参加していただきました。NPO塾全協、千葉学習塾協同組合でもご活躍されています。私もご親戚を紹介して頂くなど公私ともにお世話になっております（破談になりましたがw）。

FLENS株式会社様（担当　縣(あがた)勇介様）は、塾と保護者をつなぐコミュニケーションツール「School　Manager」や全国オンライン対戦形式で子どもの「できる」を後押しする「特訓道場」などのコンテンツを提供していらっしゃいます。

また、2月にはライフイズテック株式会社様（担当 齋藤比呂樹様）も賛助会員となりました。25年から共通テストの正式教科となる「情報1」やプログラミング等の学習教材の提供に実績のある会社です。

全国研修大会においてボランティアで準備を手伝っていただいた皆様、誠にありがとうございました。最後に、広報部長として任期を全うされた中村直人先生、お疲れさまでした。今後ともサポートの程よろしくお願いいたします。

編集後記

広報部長：中村 直人

新学年度を迎えお忙しい中、皆様の原稿協力に感謝いたします。今回の賛助会員のコーナーでは、桜丘中学・高等学校様、麹町学園女子中高等学校様と（株）POPER様より入稿いただき、誠にありがとうございました。また、74号から連載している近藤誠介先生の『講師のための英文法講座』は、今号で最後となります。長い間ご苦労様でした。4月23日の全国研修大会は19年以来の本格会場開催で、遠くからのご参加もあり久々の旧交を温めることができ良かったです。私は今号にて、広報編集長を退任いたします。今までどうもありがとうございました。

表紙の花こ・と・ば

小手毬
（バラ科・原産地中国）

コデマリは春を告げる花の代表のひとつ。直径1センチほどの小さな花房が集まり、手毬のように見えることからの和名。原産地の中国では「小粉団花」と名付けられていて、その発想からか和名で「団子花」の別称もある◆初夏に似た形の花にオオデマリがあるが、これは日本原産のヤブデマリの園芸品種といわれ、コデマリとはまったく別種である。ちなみに英名は Japanese Snowball と出自が日本であることが確認できる◆ところで最近話題の ChatGPTくんに「小手毬でエッセイを書いて」と聞いてみた。以下が彼の回答である。「花の小手毬は、春になると和菓子店やスーパーマーケットで見かけることができる、可愛らしい和菓子です。桜の花びらをイメージしたピンク色の生地に、白あんが入った小さな球状のお菓子は、見た目にも華やかで、まるで春の訪れを感じさせてくれます。」おっと！これはなんのこっちゃ、小手毬を和菓子と勘違いしている。なにかと物議をかもすGPTくん、まだまだ勉強不足のようでちょっと安心？した。（志厚）